

検査項目		分かること	
身体計測	腹囲測定	内臓脂肪型肥満の診断基準。	
血圧測定	収縮期、拡張期	脳卒中・心筋梗塞などの原因となる高血圧、低血圧などを判定。	
尿検査	尿糖	尿中の糖（ブドウ糖）の有無を調べる。糖が多い場合は、腎臓に異常があるか糖尿病の疑いがある。	
	尿蛋白	尿中の蛋白の有無を調べる。蛋白が出ていれば、腎炎やネフローゼなどの腎臓病を疑う。	
	尿潜血	尿路系の炎症、結石、腫瘍や糸球体腎炎の把握	
血液検査	貧血	ヘマトクリット、赤血球 ヘモグロビン	貧血の有無などを調べる。
	肝機能	GOT(AST) GPT(ALT)	肝機能障害、心疾患、筋肉の疾患をチェックする。値が高いと疾病の疑いがある。
		γ-GTP	主に飲酒による肝機能障害の有無を調べる。
	脂質	中性脂肪	体内脂肪の主な成分。皮下脂肪や内臓脂肪として蓄えられ、動脈硬化・脂肪肝などの原因となる
		HDL-C	いわゆる「善玉コレステロール」の量を調べる。値が少ない場合は、動脈硬化が進むことが考えられる。
		LDL-C	いわゆる「悪玉コレステロール」の量を調べる。値が多い場合は、動脈硬化が進むことが考えられる。
	糖	空腹時血糖	血液中のブドウ糖を調べる。糖が多い場合は、糖尿病や膵臓の病気などを疑う。
		HbA1c	過去1～2か月の血糖の平均的な状態がわかる。
	腎機能	尿酸	痛風や腎機能障害をチェックする。運動不足や飲酒でも値は高くなる。
		クレアチニン	体内老廃物の一種。血液中に多い場合は腎臓の機能障害を疑う。
便潜血検査		主に大腸部からの出血の有無を調べる、大腸がんなどの検査。	

● 検査項目の変更 生活習慣病健診

検査項目		検査目的	変更時期と内容	変更の理由
尿検査	潜血	尿路系の炎症、結石、腫瘍や糸球体腎炎の把握	2024復活 2022削除	激しい運動後や女性の生理中などに擬陽性(陰性の方が陽性となること)が多いため
血液検査	肝機能 総蛋白	栄養状態、肝・腎臓機能の把握	2022削除	肝機能以外での変動が大きいため。
	ALP	肝臓・胆のう・骨疾患、悪性腫瘍の把握	2022削除	肝機能以外での変動が大きいため。
	総ビリルビン	肝疾患の診断、黄疸の鑑別	2022削除	疾患の鑑別が主目的であり、スクリーニングに不適のため。
腎機能	尿素窒素	腎機能、熱傷、消化管出血を把握	2022削除	脱水など腎機能外で変動があり、現在実施しているクレアチンのみで判断した方が分かりやすいため。
糖	HbA1c (ヘモグロビン エーワンシー)	過去1～2か月の血糖の平均的な状態	2022追加	厚生労働省通達(基発1223)により 法定の定期健康診断における血糖 検査項目となったため。